

子ども食堂ってなんだろう？

おかや子ども食堂

子ども食堂等関係団体連絡会

全国的に広がっている「子ども食堂」。変わり続ける社会情勢に合わせて、「子ども食堂」のあり方も変化しています。岡谷市においても、近年「子ども食堂」の活動が活発になってきたため、市内に複数ある「子ども食堂」などの活動をしている団体が、横のつながりを強め情報を共有することで、お互いの活動に生かせるよう、「子ども食堂等関係団体連絡会」を設置しました。市では、今後も各団体と連携をとりながら活動を支援していきます。

「子ども食堂」というと どんなイメージを持ちますか？

子ども食堂は、子どもの孤立、孤食を支援する目的から始まった活動のため、少し前まではネガティブなイメージもありましたが、いまは全国的に「地域の多世代交流の場所」へと変化しています。子どもに限らず、幅広い世代の人たちが関わりを持てる場所として、「子ども食堂」では温かな関係が生まれ始めています。



おかやの大人が考える
子どもを思うそれぞれのカタチ

岡谷市は古くから、「育成会」や「子育てミニ集会」など、子育てに関する民間団体が活発に活動している地域です。これらの活動をベースに「子ども食堂」をつくるという動きが数年前に起き、さまざまな団体が動き出しました。現在、7つの団体がそれぞれの特徴を生かしながら、「おかやの子どもたち」のために活動しています。

変わり始めた「子ども食堂」の大きな役割の一つが「多世代交流の場所」です。大人の見守りが必要な「子ども」、話し相手がほしい「お年寄り」、子どもを預けたい「子育て世代」、「自分の時間を持てる世代」…、地域にそれぞれ暮らすこれらの人たちが一緒にいられる場所が「多世代交流の場所」です。コロナ禍の今はありませんが、複数世代が一緒に調理をしたり、会話をしながら一緒に食卓を囲む豊かな時間を過ごせる場所が、変化した「子ども食堂」の姿です。それぞれの団体が「多世代交流の場所」をつ

こんな活動をしています！
各団体の活動のヒトコマ。



全ページ掲載の写真において、活動時にはマスクを着用して感染防止に努め、撮影時のみ感染に気をつけながらマスクを外しています。

くるといふ共通の目標を持って活動しています。

各団体とも、始めたきっかけや活動内容はさまざまで、それぞれに特色があります。地区とのつながりを大切にし、事前に説明会を行うなど、地区へ働きかけ、地区の理解を得たうえで立ち上げた団体では、地区のみなさんの協力を得て、地区全体で子どもを見守っています。

一方、子どもと一緒に行動したマスクづくりのボランティアを通して「人の役に立つ喜び」を知ったという子どもたちのために、積極的に社会活動ができる場をつくらうと、フードドライブなどの活動を始めた団体もあります。社会活動が、とくに中高生の教育に与える影響は、はかり知れないものがあります。無理なく社会活動に参加できる場としても大切な場所となっています。

また、地区の子育て支援活動の延長として、長期休み中の保護者を助ける目的で活動している団体では、「家でもご飯を炊ける子ども」を育てることをめざし、ボランティアの大人が子どもと一緒に調理をしています。子どもの自主性が養われ、各家庭の保護者を助けることにもつながっています。

他にも、子どもの成長に必要な「自然体験」の機会を提供し、感性や想像力、協調性や自己責任といった、生きるうえで大切なことを自然から学ぶ場所をつくる活動をしている団体、空き店舗を利用して子どもの居場所をつくり、子どもを見守る活動をしている団体があります。

02

わたしたちみんなで
「おかやの子どものこと」
を真剣に考えています。

市内で、子どものため、地域のために活動している「子ども食堂等関係団体連絡会」の7団体。すてきな笑顔にあふれる、各団体のみなさんを紹介します。ぜひ、この笑顔に会いに行ってください。今よりもっと元気になれるはずです。

あなたも、参加しませんか？

フードドライブなどからの物資提供

高校生ボランティアや大人のスタッフで

外遊びやワークショップ

どなたでもお越しく下さい

一緒に食事が弁当提供

物資提供

学習支援

遊び

多世代交流

食事提供

コロナ禍で、各団体とも以前のような活動はできていませんが、コロナ収束後に向けて準備を進めています。ここではコロナ前の活動のようすも紹介しています。最新の詳しい活動内容は、各団体のホームページやSNS、または電話で確認してください。



事務局
いとう いくみ
伊藤 郁美さん

食事提供

多世代交流

遊び

多世代地域交流スペース & HOUSE

場所：山下町 1-1-22
TEL：75-2708 毎月第1水曜日
子ども/ワンコイン(何でも) 大人/300円



地域を想う気持ち「公園のような場所」

年齢問わず地域のみなが交流できる場があったらいいね、という想いから生まれた場所です。地域を大切にしたいと思う人たちが、ひと月に一度集まって、どのようなことをしていくのかを楽しみながら決めていきます。そこで、お年寄りが店主となった駄菓子屋さん「和だがし家」が生まれました。めざしているのは、だれもが自分の役割を持ちながら、小さなありがとうを大切に、そのありがとうが笑顔や生きる力につながる場所です。愛情いっぱいのお弁当と駄菓子を用意してお待ちしています。

世代を問わない「地域のベースキャンプ」

学習塾を母体として、食材提供、学習支援、フードドライブなどをやっています。コロナ禍で行なった、マスクづくりのボランティア活動を通して、子どもたちが得た「社会の役に立てる喜び」を、もっと子どもたちに体験してほしいという想いでこの活動を始めました。小学生から中学生、高校生もボランティアとして楽しく活動しています。今は食材の提供が主ですが、今後は手づくりのお弁当の配食につなげていきたいと思っています。一人暮らしの方など、世代を問わず地域の「ベースキャンプ」として、少しでも日々の暮らしのお役に立てたらと思っています。どなたでも、遠慮なく活用してください。



代表
そねはら ひろみ
曾根原 裕美さん

物資提供

多世代交流

遊び

学習支援



楽人(がくと) in わくわくキッチン

場所：長地小萩 2-10-6
TEL・FAX：78-1394 毎月第3土曜日
Facebookまたはホームページで確認してください

ホームページ



代表
おぐち たかし
小口 貴史さん

食事提供

多世代交流

遊び

物資提供

こどもだるま食堂 (岡谷で子ども食堂を真剣に考える会)

場所：平成会館(東銀座 1-1-1)
TEL：080-6938-8697(小口) 毎月第3日曜日
現在はテイクアウト 300円/世帯



「おいしいごはん」を食べに来て!

PTAや育成会のつながりから、地域と子どもの関わり合いのきっかけを、別のかたちでつくりたいという、同じ想いの仲間と共に立ち上げました。まだ市内には子ども食堂がなかったので、勉強会などに参加して「自分たちの子ども食堂のありかた」を模索し、「だれでも参加できる多世代交流の場」としていくことを小井川区の方々にご理解いただき、各種団体の協力をいただいてスタートしました。以前は季節に合わせたワークショップでお年寄りから子どもまで楽しく交流した後、全員で「いただきます」を言って調理スタッフの心のこもった、おいしいごはんをみんなで食べていました。おいしいごはんをぜひ食べに来てください。

長期休みは「区民センター」へGO!

子育て支援をしている間下区の「子育てミニ集会」が母体となり、長期休み中の子どもの居場所として、小学生が一日「間下区民センター」で過ごせるように、長期休み中に2〜3回開催しています。「自分でごはんが炊ける子どもになってほしい」という願いで、子どもたちの自主性を大切にしながら、子どもとボランティアの大人がゆっくり楽しみながら一緒に調理をして、みんなでお昼ごはんを食べ、宿題をしながら一日過ごします。コロナ禍で実施できていませんが、保護者の方にも喜んでいただいていますので、状況がよくなったらみんなで楽しく料理をしたいです。

代表
おくち まゆみさん
よこやま れいこ
横山 礼子さん

食事提供 遊び



友達食堂+(プラス)

場所：間下区民センター（山下町 1-13-16）
TEL：090-4047-2421（小口）
活動内容は学校からのチラシを見てください



こどもぐらんまんま食堂

場所：宅老所 和が家（湖畔 4-1-27）
TEL：24-3708（伊藤） 毎月第3水曜日
子ども/ワンコイン（何でも） 大人/300円



代表
いとう よう
伊藤 陽さん

食事提供 多世代交流
遊び 学習支援

「おばあちゃん」のごはん・「おじいちゃん」のあそび

併設している高齢者施設のスタッフの子どもと、施設にきている高齢者の方が触れ合うよい関係を見て、この地域の子どもたちはどこで遊んでいるんだろう、と思ったことをきっかけに、子どもたちが集まれる場所をつくれたらという想いで始めました。おじいちゃん遊び、おばあちゃんたちが作ったごはんを食べ、ボランティアの高校生に勉強をみてもらい、近所の方たちに見守ってもらう「多世代交流」「地域での子育て」をめざしています。だれが来てもいい、みんなに役割りがある笑顔でいっぱい場所です。駄菓子屋「和だがし家」もあります。ぜひ遊びに来てください。

「里山には宝物がいっぱい」親子で確かめに来て!

子どもたちは、自然豊かな里山のなかで体験型遊びをすることで、感性を育み、主体的・自発的に考えることを学び、他人を思いやる豊かな心が生まれ、想像力・協調性と自己責任が育まれると言われてしています。このような居場所をつくるために、山歩きや川遊びを中心に、子どもたちが自由に自然のなかで遊ぶためのお手伝いをしています。毎月1回常規寺沢公園で10歳くらいまでのお子さんを対象に、保護者の方にも一緒に参加してもらい、同じ場所で子どもたちを見守っていただいています。本来、子どもの育成に欠かせないと言われる「自然体験」をしにいらっしやいませんか?



代表
かすや まきお
春谷 春雄さん

多世代交流 遊び



子ども里山広場

場所：常規寺沢公園（長地梨久保2丁目11）
TEL：080-1266-1166（春谷） 毎月第4日曜日
Facebookで確認してください 参加無料

Facebook



子どもの居場所 いと○（いとまる）

場所：銀座 1-3-21
TEL：080-5388-1296（秋田）
居場所利用は登録制 300円/年

Instagram
itomaru.
shouten



代表
あきた のりこ
秋田 則子さん

遊び

「駄菓子屋です」気軽に遊びに来てね!

岡谷の糸都「いと」と、この場所が人をつなげる場所になればという想いの「○」から名づけた「いと○」。想いを言葉にしたことからできたご縁で、空き店舗に駄菓子屋を開きました。古いものを使いながら、放課後の子どもが常時過ごせる場所をつくりたいと思っています。古たんの引き出しのなかにいろんな駄菓子を入れて待っています。引き出しを開けて好きな駄菓子を見つけてね。利用登録していただくと、ここで自由に「食べる、遊ぶ、おしゃべり、宿題、工作」ができます。お店では、おかやの良いものを紹介したり、イベントや手芸などのワークショップも行っています。ぜひ親子で遊びに来てください。

03

支え合い、つながる笑顔の「わ。」

利用している人も、活動に参加している人もみんなが笑顔になります。
そんな笑顔のおすそわけ。



中高生ボランティア

- 福澤 仁心さん 地域の人といろいろ話せてよかったです。
- 網野 咲楽さん 料理の勉強にもなります。
- 森田 さくらさん
- 石田 暁大さん
- 上條 大悟さん

高校生ボランティア

- 花輪 樹那さん 地域のために活動することが好きです。
- 西畑 悠希さん また手伝いに来たいです。
- 佐藤 春南さん 初めてきたけれど楽しかった。



お弁当利用

- 小口 忍さん とてもありがたいです。子どもたちも楽しみにしています。



高校生ボランティア

- 加藤 日和さん 違う世代の人と自然に関われるところがやっていてよいところです。



配食スタッフ

- 小口 暁子さん いろいろな人やお子さんと話せて楽しいです。



見守りスタッフ

- 一木 千恵子さん 子どもたちに自分の時代の遊びや良いことを伝えたいという想いで関わっています。
- 貝淵 良子さん 自然のなかで子どもを育てていくことに賛同して、少しでも力になればと思っています。



高校生ボランティア (岡谷南高ボランティア部)

- 林 賢吾さん 初めてで忙しかったけれど少しでも役に立ててよかったです。
- 原 あずみさん 新しい出会いがありがたいです。毎月楽しみにしています。
- 永井 佐恵花さん 子どもが好きなので楽しかったです。

- 八幡 紗葉さん みんなの笑顔がやりにになります。
- 八幡 咲菜さん 人の役に立ちたくてボランティア部に入りました。楽しいです。



小学生ボランティア

- 山崎 就唯さん 手伝うのは楽しいです。



調理スタッフ

- 宮坂 佳代子さん 新聞記事で活動を知り、関わらせてもらっています。季節の味を子どもたちに味わってほしいです。

「子ども食堂」が進む先
「子ども食堂」が進む先
コロナ禍で、一緒に食卓を囲むことが困難な状況ですが、コロナ禍を経たからこそ、あらためて大勢で食卓を囲むことの大切さに気づいた人も多いのではないのでしょうか。コロナ禍で試行錯誤を続けていた各団体は連絡会が発足し、不安に思いながら進めていたそれぞれの活動の情報共有ができました。収束しつつあるコロナ禍において、連携し合うことで次のステップを模索し、準備を進めています。

今できること、これからできること。地域のみんなで力を合わせ「場」をつくっていくことが、だれもが笑顔でいられる明るい社会につながるのではないのでしょうか。連絡会の各団体メンバーは、連携することで、あらためて皆が同じ方向を向いていることを再確認し、新たなスタートを切ることができています。「子ども食堂」の活動は、ボランティアです。活動を続けられる支えは「人とのつながり」：ふだん会えない人と出会い、人に喜んでもらえる喜びを得られる貴重な機会だと言えます。

「子ども食堂」は人それぞれ、さまざまな方法や立場で参加できる、世代を超えた交流の場所です。これを機に、どこかの「子ども食堂」をのぞいてみませんか？

問合せ 子ども課 内線 1266

利用している人「いつもありがとう。楽しみにまっています」 参加している人「みんなで支え合う喜び。できることからお手伝い」



イベント参加

石橋 正和さん ハロウィンのカンパを
幸浩さん 一緒につくりました。
明さん



育成会有志

福島 将宣さん
清水 俊彰さん
松瀬 秀樹さん
今後も協力して地区を盛り上げてい
きたいと思います。



見守りスタッフ

有賀 メアリーさん

子どもたちは遊びの天才です。遠くまで行かなくても足元
にきれいなものがたくさんあることに気づいてもらえるよう
なヒントを少しあげています。



イベントスタッフ

山田 守彦さん
オープンに関わった縁で
手伝いました。またいろ
ろなかたちで協力したい
です。



高校生ボランティア

井内 琉泰さん
協力して一つのものを作るというところ
が楽しかったです。
田中 陸さん
家ではやらない料理の手伝いができて楽
しかったです。



食材提供

みんなのテンホウ(岡谷丸山橋店)
店長 平澤 史祥さん
少しでも地域の人のお役に立ちたいと思
い協力させていただいています。



見守りスタッフ

宮原 規夫さん
外で遊ぶ環境がない子
どもたちに自由に遊ぶ機
会をつくらうという想
いで参加しています。



食材提供

唐揚げのやまざき(岡谷店)
店長 北原 祐紀穂さん
スタッフの方とご縁
があり、活動に賛同
したため、協力させ
ていただいています。



お弁当利用

今井 亜希子さん
おいしいお弁当で
助かっています。



自然体験参加

赤津 龍男さん
和成さん
理心さん
伊藤 豪彦さん
美海さん
魁星さん

町中ではできないターザンロープ
や川遊びができてよいですね。

自然のなかで、自分たちで探
した遊びができるところがよいと思
います。

- & HOUSE ⇨ 12/1 (水) 16:00 あんとの配食 12/25 (土) クリスマスイベント
- 楽人 in わくわくキッチン ⇨ 12/18 (土) 11:30 ~ 12:00 にお弁当配布、他のお配り
- こどもだるま食堂 ⇨ 12月に開催します。詳細は決まり次第 LINE にてお知らせします。
- 友達食堂+ ⇨ 予定が決まり次第、学校を通じてチラシにてお知らせします。
- こどもぐらんまんま食堂 ⇨ 12/15 (水) 16:00 ~ 17:00 クリスマス弁当の配布
- 子ども里山広場 ⇨ 12/26 (日) 9:30 ~ 11:30 常現寺沢公園「冬の自然観察里山歩き」
- いとまる ⇨ 12/15 (水)・18 (土)・19 (日)・22 (水)・24 (金)
クリスマスオーナメント作り



今後の予定

次の予定をチェックし
て、ぜひ出かけてみ
てください!

※予定は変更になる場合
があります。事前に各団
体に問い合わせください。